

ジョブ・カード

～ セミナー テキスト ～



あなたはどっち？ 夢や希望から考える・経験や特技から考える

キャリア・プラン（職業生活設計）とは、職業生活における将来の目標を立てた上で、それを実現していくための計画のことです。

数年から数十年のスパンで、自分がどのような仕事をしながらどういう働き方をしていきたいかということを考え、キャリア・プランを作成することを「キャリア・プランニング」といいます。これにより、過去に得てきたこと、今果たさなければならないこと、この先やりたいことなどが整理できます。

将来の見通しがつきにくくなっている今だからこそ、働く一人ひとりが自分の「キャリア・プランニング」をすることで将来に備えることが大切です。

- ① 今までどのような経験をしてきたのか
- ② 自分のできること・強みや特長は何なのか
- ③ これから何をしていきたいのか
- ④ そのために自分は何をするのか



伝わる応募書類のポイントは…？

■ 良い例

- ぜひ面接で直接聞いてみたいと思わせる自己PRが書かれている
- 過去の職務経歴欄に、「経験した業務」だけではなく「学び」や今後当社の仕事でも活かせる能力について書かれてある
- 志望動機は、自己PRや職務経歴とのつながりがあり、「働きたい」ではなく「御社で働きたい」気持ちが伝わってくる



■ 悪い例

- 書いてあることの根拠がまったく読み取れない。「責任感がある」ってなぜ言い切れるの？
- 同じ業界、同じ職種ならどこの会社でも通用するような志望動機が書かれてあると、「使いまわし」と感じる
- 面接で書いてあることについて質問したら、「そんなこと書いてましたっけ？」と逆に聞き返された



なにか便利なツールはないかなあ

※採用担当者の方の声から



ジョブ・カード制度について

・「ジョブ・カード」は下記様式のA4版のシートで構成されます。

キャリア・プラン関係

様式1-1 キャリア・プランシート（就業経験がある方用）

様式1-2 キャリア・プランシート（就業経験がない方、学卒者等用）

ご自身のキャリア・プラン（職業生活設計）等を記入します。

ジョブ・カード作成アドバイザーがキャリアコンサルティングを行った場合、署名欄に記入を行います。

職務経歴関係

様式2 職務経歴シート

ご自身の職務経歴等を記入します。

「職業能力証明」のツールとして応募書類に追加添付する等の活用もできます。

免許・資格関係

様式3-1 職業能力証明（免許・資格）シート

作成者本人が取得している免許や資格を記入します。

キャリア・プランニングのための自己理解等の際に活用するとともに、「職業能力証明」のツールとして応募書類に追加添付する等の活用もできます。

学習・訓練関係

様式3-2 職業能力証明（学習歴・訓練歴）シート

作成者本人の学校等での学習実績や職業訓練等の訓練実績を記入します。

キャリア・プランニングのための自己理解等の際に活用するとともに、「職業能力証明」のツールとして応募書類に追加添付する等の活用もできます。

評価関係

様式3-3 職業能力証明（訓練成果・実務成果）シート

教育訓練の成果の評価、職場での仕事振りの評価を、教育訓練機関・企業の評価担当者が記入します。

「職業能力証明」のツールとして応募書類に追加添付する等の活用もできます。

ジョブ・カードを作るメリット・使うメリット

■ 作ってよかった

- 今まで「無遅刻無欠勤」なんて当たり前だと思っていたけど、それが面接で評価されると知りました。
- あんまり「これ！」といったことのない人生だと思っていたけど、言葉にまとめるとなかなかいいじゃないかと思えるようになった。

■ 使ってよかった

- 自分のことがよく分かったので、面接で「どんな職場が適応できるか」「どんな仕事の進め方が得意か」などをきちんとアピールできた。
- 様式1を「自分の取り扱い説明書」のように作成したので、入社後すぐに職場になじめると思う。

※ 平成30年度アンケート自由記述より

「ジョブ・カード制度総合サイト」について

- ・「ジョブ・カード制度総合サイト」には、ジョブ・カードの入手・記入方法などについて詳しく書かれています。
- ・ジョブ・カードを作成する方法を決めましょう。



Job Card
ジョブ・カード制度 総合サイト

<http://jobcard.mhlw.go.jp>

手書き	ハローワークの窓口や、セミナーでもらう
	パソコンで、PDF形式でダウンロードし、印刷する
パソコン	Excel形式でダウンロードする
	ジョブ・カード作成支援ソフトウェアをダウンロードする



作成支援ソフトウェア
を使って応募書類に
展開できる！

- ※ ジョブ・カード作成支援ソフトを使用すると、必要な情報を入力することでジョブ・カードの作成が容易になります。
また、作成したジョブ・カードから入力情報を編集し、JIS規格の様式例に基づいた履歴書、職務経歴書を作成することができます。
詳しくは「ジョブ・カード制度総合サイト」をごらんください。



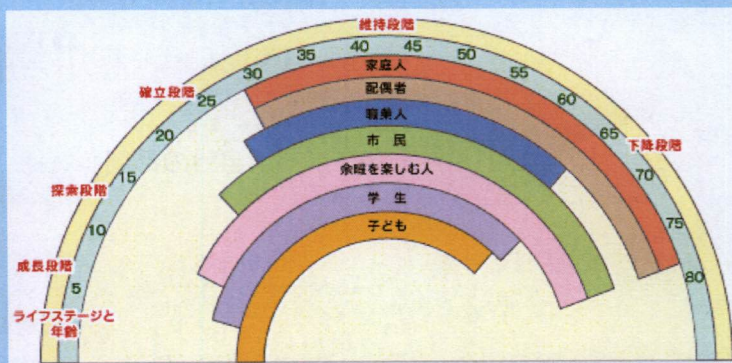
キャリアコンサルティングを受けてジョブ・カードを作るメリット

ジョブ・カードは一人でも作成していただくことが可能です。ですが、自分のことは自分ではなかなか見えないものです。

キャリアコンサルティングは、キャリアの専門家であるキャリアコンサルタントと1対1の対面面談で実施します。面談では経験の棚卸しや学びの確認、自分の価値観の洗い出しなど自己理解を進め、その後、実現したいキャリア・プランについて相互検討を重ねます。こうした取り組みがすべて「会話」を通じて行われるため、今まで気づかなかった自分の一面を発見したり、自分の経験について別の解釈ができることを発見したりできます。これが深みのある自己理解につながっていきます。

またキャリア・プランの検討の際には、キャリアの全体像など、考えておくべき側面について情報提供を受けることもできます。

	自分は知っている	自分は気づいていない
他人は知っている	「開放の窓」 自分の他人も知っている自己	「盲点の窓」 自分は気づいていないが他人は知っている自己
他人は気づいていない	「秘密の窓」 自分は知っているが、他人は気づいていない自己	「未知の窓」 誰からもまだ知られていない自己



ジョブ・カードは「はたらくあなた」のデータベース



キャリアコンサルティングについて

ジョブ・カードの作成支援は「キャリアコンサルタント」が、キャリアコンサルティングを通じて行います。

また、職業訓練や、専門実践教育訓練を受講する場合、受講前にジョブ・カードを使ったキャリアコンサルティングを受ける必要があります。

受講前にキャリアコンサルティングを受ける必要がある方

- ① 専門実践教育訓練の受講を希望する方
- ② 雇用型訓練の受講を希望する方
- ③ 日本版デュアルシステム（公共職業訓練のうち企業実習を伴うもの）の受講を希望する方
- ④ 長期高度人材育成コースの受講を希望する方

キャリアコンサルティングを受けることがのぞましい方

- ⑤ 求職者支援訓練の受講を希望する方
- ⑥ 公的職業訓練受講を希望する方
- ⑦ その他、自己理解、職業経験の棚卸し、キャリア・プランの作成支援を希望する方

一人で書いていると、どう書けば効果的なのかがわからなかったのですが、アドバイス助かりました。

受けられた方のお声

職務経歴の書き方は、今までの自己流では自己PRにつながりにくいことがわかりました。

コンサルタントさんと話す事で、自分の希望や気持ちにきづくことができました。